

令和 6 年度事業報告書

社会福祉法人 柏原市社会福祉協議会

◀ 目次 ▶

事業概要	P1
------	----

【総務課】

1 法人組織運営

(1) 法人運営の強化	P2
(2) 自主財源の確保	P3
(3) 行政、その他関係機関との連携強化	P3
(4) 広報啓発活動強化	P3
(5) 組織管理体制の充実	P3
(6) 災害対策の充実	P4
(7) 各種団体等の事務局運営の充実	P4
(8) 善意銀行・福祉基金の運営	P4
(9) 社会福祉士の実習、オープンカンパニーの受け入れ	P5
(10) 柏原市立老人福祉センター（指定管理）の運営	P5
(11) 大阪府生活福祉資金貸付事業	P6

【地域福祉推進課】

2 総合的な地域福祉の推進

(1) 個別支援活動からの支援体制づくり	P6
(2) 小地域ネットワーク活動の基盤整備と活動支援	P8
(3) 多機関との連携協働事業	P9
(4) 社会資源の発掘活用支援	P10
(5) 事務局機能の強化による活動支援	P11
(6) 柏原市療育教室	P12
(7) 柏原市育児支援家庭訪問事業（産褥期ヘルパー派遣事業）	P13
(8) 柏原市障害者基幹相談支援センターによる相談体制の強化	P13

3 高齢者いきいき元気センター（地域包括支援センター）

(1) 介護予防ケアマネジメント業務	P15
(2) 総合相談支援事業	P15
(3) 権利擁護事業	P16
(4) 継続的、包括的マネジメント業務	P17
(5) 地域ケア会議の充実による個別課題の解決と地域課題の把握	P19

4 高齢者対策の強化

(1) 健康寿命の延伸	P19
(2) 認知症対策の強化	P20
(3) 介護者支援の充実	P21
(4) 団体活動の支援	P21
(5) 地域見守りネットワークの構築	P22

【福祉事業課】

5 介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業『ケアプランかしわら』	P22
(2) 訪問看護事業『訪問看護ステーションかしわら』	P23
(3) 訪問介護事業『ヘルパーステーションかしわら』	P25

6 障害者支援事業

(1) 肢体不自由児訓練事業	P25
----------------	-----

7 障害福祉サービス事業『障害福祉サービスわくわく』

(1) 生活介護	P25
(2) 就労継続支援B型	P25

8 介護保険・障害福祉サービス事業共通事項(会議・委員会の開催等)

(1) 虐待防止及び身体拘束等の委員会の開催(年1回以上)と適正化への取組継続	P26
(2) 介護保険・障害福祉サービス事業あり方検討委員会事務局会議の開催 (年2回)	P26

令和6年度 柏原市社会福祉協議会事業報告

【事業概要】

柏原市社会福祉協議会は昭和49年11月に社会福祉法人格を取得し、昨年50周年を迎えました。12月7日に開催した記念の柏原市社会福祉大会では、この10年間に地域福祉に貢献された757名、113団体を表彰し、大会宣言が採択されました。記念講演では「いきいきエイジング」と題し武庫川女子大学の松端教授に講演いただき、高齢化社会を生きる心構えを学びました。また、50年間の柏原市社会福祉協議会のあゆみをまとめた記念誌を発行しました。

地域住民の現状としては、コロナ禍以降広がった経済格差が解消せず生活に困窮する世帯があり、それに加えてヤングケアラーや老々介護などの問題を抱えていることも珍しくありません。柏原市社会福祉協議会では、一つひとつの相談に丁寧に関わり、支援を組み立ててきましたが、地域の福祉の担い手の高齢化に伴う人手不足は深刻で、さらにシステム化されたネットワークの構築を進めているところです。また、人事管理や人材育成等を目的に、令和元年度より実施している人事評価制度についても、適正評価の定着に向け、年2回の人事評価を継続実施しました。

地域福祉推進課では、今年度より重層的支援体制整備事業を受託しました。市の庁内各課、社協内の各相談支援事業、市内の福祉事業所などが一丸となって地域共生社会の実現に向けて取り組めるようスタートしました。

高齢者いきいき元気センターでは、高齢者の自立支援に資するケアマネジメントとして、短期集中予防サービスや地域リハビリテーションに繋ぎ、高齢者の身体機能向上や生活課題の解決に取り組みました。

障害者基幹相談支援センターでは、柏原市手話言語条例を推進するため新たに意思疎通支援講座を開催しました。またパーカッションクラブの定期開催や、ピアカウンセラーによるカフェミーティングを行うなど、障害福祉の周知や居場所作りのための啓発活動を行いました。

福祉事業課においては、職員の世代交代が進みにくく定年退職者もある中、最低限の人員配置で事業運営していますが、「介護保険・障害福祉サービスのあり方検討委員会事務局会議」にて各事業の経営状況の共有を行い、利益を少しでも上向きにするためにさらにできることはないかと検討してきました。業務の効率化をはじめとした見直しを行い、この検討は次年度も続けていく予定です。

また、訪問看護ステーションでは、義務化されたマイナンバーカードによるオンライン資格確認に対応するためのシステムを導入しました。頻繁に制度改革が行われる中、情報を逃さぬように対応しています。障害福祉サービス事業の運営基準も年々厳しくなっていますが、研修実施や就労継続支援B型利用者の工賃アップなどに取り組んでいます。

各事業の詳細は以下の通りです。

【総務課】

1 法人組織運営

(1) 法人運営の強化

《理事会の開催状況》		
開催日	場所	審議内容
5月28日	柏原市立健康福祉センター3階	1 社会福祉法人格取得50周年記念柏原市社会福祉大会の開催について 2 社会福祉法人柏原市社会福祉協議会定款の変更について 3 社会福祉法人柏原市社会福祉協議会就業規則の変更について 4 令和5年度柏原市社会福祉協議会事業報告（案）について 5 令和5年度柏原市社会福祉協議会決算報告（案）について 6 令和6年度第1回評議員会開催について 7 善意銀行の払い出しについて
10月31日	柏原市立健康福祉センター3階	8 社会福祉法人格取得50周年記念柏原市社会福祉大会の開催について 9 善意銀行の払い出しについて
3月19日	柏原市立健康福祉センター3階	10 社会福祉法人格取得50周年記念柏原市社会福祉大会開催報告について 11 社会福祉法人柏原市社会福祉協議会経理規程の変更について 12 令和6年度柏原市社会福祉協議会補正予算（案）について 13 令和7年度柏原市社会福祉協議会事業計画（案）について 14 令和7年度柏原市社会福祉協議会予算（案）について 15 令和6年度第2回評議員会の開催について 16 令和7年度役員等賠償責任保険契約締結について 17 善意銀行の払い出しについて

《評議員会の開催状況》		
開催日	場所	審議内容
6月14日	柏原市立健康福祉センター3階	1 社会福祉法人柏原市社会福祉協議会定款の変更について 2 令和5年度柏原市社会福祉協議会事業報告（案）について 3 令和5年度柏原市社会福祉協議会決算報告（案）について
3月28日	柏原市立健康福祉センター3階	4 令和6年度柏原市社会福祉協議会補正予算（案）について 5 令和7年度柏原市社会福祉協議会事業計画（案）について 6 令和7年度柏原市社会福祉協議会予算（案）について

《監事監査の開催状況》		
開催日	場所	監査内容
5月10日	柏原市立健康福祉センター3階	決算監査

(2) 自主財源の確保

①会員会費

種類	件数	金額
組織構成会費（正会員）	32件	854,000円
特別賛助会費	91件	775,000円
住民賛助会費	17,872件	7,095,000円
合 計		8,724,000円

②有料広告掲載事業

社協の広告媒体に民間企業等の広告を有料掲載し、社協の新たな財源確保とともに地域経済の活性化と市民サービスの向上を図ることを目的として実施した。

社協かしわら……広告4回（阪南システムマシン株式会社2回、田中社会保険労務士事務所2回）

(3) 行政、その他関係機関との連携強化

柏原市の担当部局から予算編成の説明を受け、適正な予算要求に努めヒヤリングの結果補助金・受託金を確保した。

(4) 広報啓発活動強化

- ホームページの更新
- 社協かしわら発行（年2回 全戸配布）
- フェイスブック……更新 11回 フォロワー数 332人

(5) 組織管理体制の充実

①苦情対応実績

ア 第三者委員の活動状況	
相談件数	0件
社協への申立後の対応	0件
第三者委員への直接の申立による対応	0件
イ 福祉サービス苦情解決相談員設置事業	
相談件数	9件

②安全衛生委員会の運営

労働災害の防止、働きやすい職場づくりのため、安全衛生に関する年間計画をもとに、職場巡視や事故報告・ヒヤリハットの共有など様々な活動を行い、定期的に審議した。

○委員会の開催 月1回 定期開催

③人事評価制度の運用

令和元年10月1日施行「人事評価規程」に沿って、職員の職務遂行度、職務行動及び職務能力を一定期間ごとに分析し、評価した。

令和6年8月人事評価：令和6年2月1日～7月31日 対象人数：42名

令和7年2月人事評価：8月1日～令和7年1月31日 対象人数：40名

④人権研修の実施

個々の人権意識の向上とメンタルヘルスを目的として、安全衛生委員会と共同で法人内研修会を実施した。

○日時：11月22日・28日

○テーマ：「ハラスメント、偏見固定観念差別について、ストレスとセルフケア」

○参加総数：55名

(6) 災害対策の充実

・防災啓発事業等への協働参加

○令和6年度災害ボランティアコーディネーター研修の参加（2名）

○三市（柏原市・羽曳野市・藤井寺市）社協の協働事業

10月29日 柏原市で、三市合同災害ボランティア養成講座を開催した。（柏原市10名参加）

(7) 各種団体等の事務局運営の充実

①柏原地区共同募金会の運営

○実施者 柏原地区共同募金会 期 間 10月1日～12月31日

協 力 柏原市区長会、柏原市民生・児童委員協議会、柏原市ボランティア連絡会
柏原市内小中学校他

○共同募金実績

実績額			
街頭募金	146,673円	学校募金	150,257円
法人募金	645,595円	バッジ募金	396,500円
戸別募金	3,028,670円	その他	217,023円
職域募金	244,358円		
合 計		4,829,076円	

○歳末助け合い募金

協 力：特定非営利活動法人明るい社会づくり運動Y.Kホットフォーラム
ボーイスカウト柏原第3団、大阪東部ヤクルト販売株式会社等

期 間：12月1日～12月31日 実績額：合計 97,981円

配分先：柏原市社会福祉協議会

○赤い羽根共同募金協力型自動販売機 1台設置

場所：ほのぼのかたしも（平野1-12-1）

○赤い羽根共同募金365日募金箱設置

場所：柏原市社会福祉協議会（大県4-15-35）

②柏原市民生・児童委員協議会事務局の運営

民生・児童委員の円滑な活動を支援するために、主に下記の内容を実施した。

【各種会議】

正副会長会	役員会	定例会	会計監事監査	総会
11回	11回	5回	1回	1回

(8) 善意銀行・福祉基金の運営

①善意銀行

善意銀行は、市民からの善意の預託を受ける窓口として、金員、物品とも指定された施設・団体に払い出した。

○預託等の状況

預託	金額	払い出し	金額
前年度繰越金	0円	柏原市社会福祉協議会	278,002円
預託金品	1,055,829円	(以下払出予定)	
利息	173円	市内こども食堂他	750,000円
		柏原市社会福祉協議会	28,000円
合計	1,056,002円	合計	1,056,002円

②福祉基金

地域に根ざした在宅福祉サービス事業、ボランティア事業を展開し、地域福祉の増進に寄与することを目的に基金を設置し、その果実を運用した。

基金設置日 昭和60年12月6日 前年度末基金積立額 322,522,971円

本年度末基金積立額 322,574,971円

寄付金及び基金果実	払い出し
本年度受付寄付金	基金積立
0円	52,000円
基金果実	法人
1,200,000円	1,200,000円
(国債購入時額面差額)	
52,000円	
合計	合計
1,252,000円	1,252,000円

(9) 社会福祉士の実習、オープンカンパニーの受け入れ

①社会福祉士実習受け入れ

社会福祉士有資格者数：16名(実習指導者研修修了者7名)

相談援助実習：3大学 5名(1人あたり180時間)

②オープンカンパニー受け入れ

受入実績：1名

(10) 柏原市立老人福祉センター(指定管理)の運営

○センター利用状況

月	開所日数	利用者数(延べ人数)	一日平均(人)
4月	24	1,315	54.8
5月	24	1,292	53.8
6月	23	1,333	58.0
7月	25	1,433	57.3
8月	25	1,210	48.4
9月	23	1,278	55.6
10月	26	1,337	51.4
11月	23	1,340	58.3
12月	22	1,321	60.0
1月	22	1,266	57.5
2月	22	1,314	59.7
3月	24	1,464	61.0
合計	283	15,903	56.2

○リサイクル資源の回収協力福祉施設

段ボール回収……柏原放課後子ども教室☆い・ち・み☆

アルミ缶回収……夢工房くるみ

(11) 大阪府生活福祉資金貸付事業

国と大阪府が出資し低所得者・高齢者及び障害者等の低所得者世帯を対象に、安定した生活を営むために必要な資金貸付の申請支援を実施した。また、「新型コロナウイルス感染症特例貸付事業」を利用した人の償還に対するフォローアップ支援を行った。

【受付実績】

通常貸付	延べ 件数	新型コロナウイルス感染症特例貸付 フォローアップ支援	延べ 件数
緊急小口資金	33	個々の状況に配慮した償還猶予等の案内	160
総合支援資金	1	訪問等のアウトリーチによる生活 再建に向けた支援	13
教育支援資金	39	借受人へのフォローアップ支援	63
生活福祉資金	97	償還免除申請に未応答の借受人への フォローアップ支援	1
不動産担保型生活資金	4		
合計	174	合計	237

【地域福祉推進課】

2 総合的な地域福祉の推進

(1) 個別支援活動からの支援体制づくり

①コミュニティソーシャルワーカー（CSW）のコーディネート機能強化

CSW・COW（コミュニティワーカー）合同会議に大阪教育大学の新崎教授をスーパーバイザーに迎え、地域支援の視点から生活支援コーディネーターと重層的支援体制整備事業担当者が新たに加わりケース検討や居場所づくりの検討などを実施した。相談援助を通し生活の困りごとを抱えた方へ様々な制度や機関と連携を取り、支援ネットワークを構築し支援を展開した。また、引き続き伴走型支援として、生活困窮者自立支援事業のプラン作成が難しい引きこもり世帯に対しても、市の就労準備支援事業「くしら」と連携し支援にあたった。

【相談支援実績】

相談対象者	相談者数	相談者延人数	新規相談件数
高齢者	107	132	55
（うち）一人暮らし	92	117	47
（うち）高齢者のみ	15	15	8
障がい者	104	246	47
（うち）身体	1	1	1
（うち）知的	22	33	10
（うち）精神	81	212	36
子育て中の親子	33	52	10
ひとり親家庭の親子	32	72	9
青少年	20	20	9
DV被害者	1	2	1
ホームレス	0	0	0

外国人（中国帰国者含む）	2	2	1
その他（生活困窮者）	71	121	27
その他（その他高齢者） ※1クライアント1カウント	70	148	9
その他（介助者・介護者） ※ヤングケアラー含む	11	34	1
その他（障がい疑い・難病）	19	39	7
その他（上記に属さない一般の住民）	275	372	54
合 計	745	1,240	230

【内容別】

相談内容	相談者数	延べ件数
福祉制度・サービスに関する相談	178	228
生活に関する身近な相談	151	234
健康・医療に関する相談	43	81
生活費に関する相談	117	198
就労に関する相談	27	31
財産管理・権利擁護に関する相談	15	35
消費者被害に関する相談	0	0
多重債務に関する相談	10	20
DV・虐待に関する相談	2	2
地域福祉・ボランティア活動に関する相談	193	228
住宅に関する相談	12	12
子育て・子どもの教育に関する相談	11	13
その他（安否確認）	21	42
その他（ひきこもり）	45	79
その他（不登校）	1	1
その他（近所トラブル・迷惑行為）	7	9
その他（不安解消・介護者レスパイト）	22	27
合 計	855	1,240

②日常生活自立支援事業による権利擁護機能の強化と広報活動強化

認知症高齢者や知的・精神障害者などで判断能力の不十分な方に福祉サービスの利用援助や日常的金銭管理及び書類保管サービスを行った。

【相談支援実績】

内容	本事業の利用に関するもの				合計
対象者 事項	認知症高 齢者等	知的障害 者等	精神障害 者等	不明・ その他	
問い合わせ数	9	6	7	0	22
初回相談数	4	1	1	0	6
相談援助件数（電話・訪問）	261	286	898	0	1,445
合計	274	293	906	0	1,473

【契約者数等】

対象者 内容	認知症高 齢者等	知的 障害者等	精神障害 者等	その他	生活保護 (再掲)	合計
①利用者数	10	10	21	0	16	41
②新規契約者数	0	0	0	0	0	0
③契約終了者数	2	1	2	0	1	5
年度末利用者数 (①+②-③)	8	9	19	0	16 (年度途中 の変更含む)	36

【契約による支援回数】

819 回 (のべ回数)

③権利擁護事業の円滑な運営を考える検討会の実施による成年後見制度利用促進

「権利擁護事業の円滑な運営を考える検討会（通称ほっとねっと検討会）」と名称を改めて開催し、柏原市社会福祉協議会、行政、弁護士が月に一回程度集まり、成年後見制度利用の必要性があるケースの検討や、更に枠を拡げ権利擁護事例の共有を行った。

【検討実績】 期間：令和 6 年 4 月～令和 7 年 3 月

検討総数	8 件	後見制度利用が必要と 思われる件数	3 件
うち日常生活自立支援事業ケース	1 件	うち本人申立相当	0 件
うち障害者基幹相談支援センターケース	2 件	うち市長申立相当	3 件
うち高齢者いきいき元気センターケース	4 件	うち親族申立相当	0 件
うち CSW ケース	1 件		

④柏原市生活困窮者自立支援事業の拡充

就労支援と家計改善支援を柱に総合的に相談に応じ、対象者の自立に向けた支援を行った。

【相談支援実績】

新規相談件数	内訳		
161	相談のみ	他機関に繋ぐ	プラン作成
	69	22	70

【法に基づく事業等利用件数】

住居確保 給付金	一時生活 支援事業	家計相談 支援事業	就労準備 支援事業	就労訓練 事業	自立相談支 援事業によ る就労支援
1	0	22	5	0	51

【生活困窮者自立相談支援事業（法律相談）】

相談受付件数	受任件数	相談件数（述べて件数）
12	5	22

(2) 小地域ネットワーク活動の基盤整備と活動支援

住民一人ひとりが福祉活動に参加し、地域の中の助け合いを育てていくための住民組織としておおむね小学校区ごとに設置されている 9 つの地区福祉委員会において、福祉のまちづくりのため、それぞれの地域に応じた活動を展開した。

①地区福祉委員会研修会の開催

研修名	実施日	場所	参加人数
地区福祉委員会 研修会 第1回目	10月28日	オアシス 講座室	23名
令和6年度 小地域ネットワーク活動リーダー研修会	2月13日	オアシス 講座室	2名
のべ参加者数			25名

②地区福祉委員会委員長連絡会の開催

開催日	内容
5月17日	令和6年度地区福祉委員会研修会(案)について 小地域活動推進事業補助金について 令和5年度 実績報告書 柏原フードパントリー活動報告 住民賛助会費について 令和6年度友愛訪問事業に伴う地区福祉委員会負担金の請求
9月24日	愛の一声訪問事業の変更について 地区福祉委員会研修会について フードパントリーについて 11月友愛粗品カレンダーの請求について 50周年福祉大会の案内について 柏原ふれあい広場の掲示物について
3月17日	令和7年度の総会について 令和6年度地区福祉委員会・研修会の実績報告 令和7年度友愛訪問日程・粗品・連絡先 確認 令和7年度小地域活動推進事業補助金の交付申請について 令和7年度ボランティア保険について 令和7年度 組織構成会費について 各地区福祉活動について

③友愛訪問事業・柏原フードパントリー事業

寄付受付（食品）	寄付受付（日用品）	配布者数（のべ）
1550点	528点	83件

④「ほのぼのかたしも」の運営

地域住民で構成されたほのぼのかたしも運営委員会の地域福祉活動の自主運営を支援した。

開所日	入館者のべ人数	足湯利用者のべ人数
237日	4936人	434人

⑤地区活動から個別支援へニーズの掘り起こし

「COW 実践記録」を継続したことにより地域支援の可視化を図った。

(3) 多機関との連携協働事業

①柏原市生活困窮者支援会議・部会の運営

地域共生社会の実現に向け、柏原市や関係機関との包括的な相談支援体制を整備することを目的に開催。

	内容	回数
就労支援部会	事例検討会、若者サポートステーションやハローワークとの情報共有	6

こども若者支援部会	こどもの居場所づくり実践者による活動紹介・意見交換会	1
民間支援部会	レスキュー事業の報告・周知について、中間就労・ステップ就労について	2
定例会議	第 2 週はケース支援方針検討・情報共有、第 4 週はケース評価検討	24

②要援護者食糧等分配支援事業による切れ目のない支援

大阪いずみ市民生活協同組合との協定や地域住民の支援により、食料分配を行った。

件数	内訳				
86 件	高齢者世帯	障害者世帯	低所得世帯	生活保護世帯	その他
	28	12	10	20	16

③重層的支援体制整備事業による連携のための取り組み

本年度より受託し、地域共生社会の実現にむけた包括的な支援体制の構築を推進するため、重層的支援体制整備事業による多機関協働の支援や複合的な課題をもつ世帯の支援に関する会議を行った。

【相談支援】

件数	内訳		
44 件	多機関協働支援	参加支援	アウトリーチ等を通じた継続的支援事業
	31	4	9

【重層的支援会議】

件数	参加者内訳				
7 件	高齢者分野	障害者分野	子ども分野	困窮分野	その他
	3	1	3	4	10

※その他＝CSW・民間施設連絡会加盟施設・地域若者サポートステーション・生活保護担当ワーカー・病院

【支援会議】

件数	参加者内訳				
5 件	高齢者分野	障害者分野	子ども分野	困窮分野	その他
	3	3	2	2	9

※その他・・CSW・保健センター・人権推進課・産業振興課・中学校

(4) 社会資源の発掘活用支援

①柏原市ボランティア・市民活動センターの体制強化

ボランティア活動に関する相談を随時受付し、普及啓発、情報提供、講座開催、研修、活動支援を実施し、誰にでも分かり易く、親しみやすいセンター事業の運営に努めた。また、活動にあたるボランティアの体力・運動機能の向上を目指し、ボランティア連絡会とともにフレイル・ロコモ予防の活動を展開した。

【登録状況】

グループ (65 グループ)	個人登録	合計
1,277 名	17 名	1,294 名

【依頼・相談状況】

福祉関係	社協	行政機関	団体	学校	地区福祉委員会	その他	計
37 件	12 件	1 件	2 件	3 件	30 件	0 件	85 件

【ボランティア・市民活動センター会議】

開催年月日	内容	参加者
令和 7 年 3 月 25 日	ボランティア活動団体発展について講演会	36 名

【ボランティア講座・行事】

ビジュアルヒストリーガイド	年間 10 回	柏原市歴史資料館、ボランティア団体「柏原市民歴史クラブ」と協力し歴史に関する実況配信実施
三市（柏原市、羽曳野市、藤井寺市）合同災害ボランティア養成講座	11 月 10 日	参加 19 名 柏原市にて開催 講師 柏原市災害ボランティアコーディネーター会、3 市社協職員
市民総合フェスティバル	11 月 2 日	雨天中止
フレイル・ロコモ予防教室	年間 11 回	関西福祉科学大学リハビリテーション学科名誉教授長谷川幸治氏が月に 1 回講義をハイブリット形式で開催 ボランティア連絡会と協働でカピバラ健康体操の動画化 名古屋女子大学教授片山直美氏にもご協力いただく

②かしわらファミリー・サポート・センター事業の拡充

本事業により、育児の援助を行いたい人と、育児の援助を受けたい人を登録受付し、相互援助活動に関するコーディネート、アドバイス等を行った。

【会員数及び活動状況】

依頼会員数	援助会員数
272 名	70 名

【活動状況の実績】

内 容	回 数
保育所・幼稚園・放課後児童クラブの送迎、その前後の預かり、習い事の送迎等	年間合計 630 回

（５）事務局機能の強化による活動支援

ＩＣＴも活用し会議・研修等を行い、効率的に事務局運営を行った。

① 柏原市ボランティア連絡会事務局

- ・ ボランティア連絡会代表者会議の開催 毎月 1 回
コラボ活動の推進
フレイルロコモ予防教室、運動教室の開催
- ・ 柏原市市民総合フェスティバル（環境フェア）中止
- ・ 柏原市ボランティア展の開催 11 月 23 日 350 名参加
- ・ 柏原市ふれあい広場実行委員参画 12 月 7 日開催

②柏原市民間社会福祉施設連絡会（地域貢献委員会）（事務局）

【各種会議】

名称	回数	内容
総会	1 回	事業報告・決算報告・事業計画・予算について
役員会	1 回	事業報告・決算報告・事業計画・予算について 研修会について
実務担当者委員会	4 回	令和 6 年度大阪しあわせネットワーク事業について 生活支援事業報告 研修会について 総会・次年度事業計画について
実務担当者会議	3 回	令和 6 年度大阪しあわせネットワーク事業について 生活支援事業報告 地域貢献委員会の趣旨について 研修会について 総会について
研修会	2 回	「合言葉は、いつもしも」～安心・安全・安住に暮らせる福祉コミュニティを目指す地域貢献活動～ 労働災害防止についてについて

③柏原市子どもの学習・生活支援事業

「ほのぼのの家こくぶ」「ほのぼのかたしも」において実施されている「子どもの学習・生活支援事業」における、学習支援補助員のコーディネーター業務・実施場所や物品の提供を行った。オンライン授業は今年度開催なし。

(6)柏原市療育教室

①発達に弱さのある子どもたちの成長・発達促進

それぞれの幼児の発達段階や障害の違い（身体的・知的）に応じてより細やかな療育に取り組めるように2つのグループに分け、保育の質の向上を目指し各グループ8名程度の少人数で保育を行った。

ぱんだグループ（2,3 歳児、基本として親子分離保育）

うさぎグループ（1,2 歳児中心、親子同室保育）

感覚あそび、散歩、運動遊び、水遊び、製作などに取り組んだ。また、季節に応じた行事を実施した。感染症予防の為、手洗い・消毒に留意し保育を行った。

【月別利用状況（児童数）】

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
在籍児数	5	6	8	9	10	10	12	12	12	14	14	14	126
ぱんだ	14	16	35	52	51	53	50	74	70	73	63	80	631
うさぎ	42	43	43	39	41	46	77	54	59	46	49	53	592
合計	56	59	78	91	92	99	127	128	129	119	112	133	1223

②保護者の思いに寄り添った適切な支援

○家庭訪問

子どもの生き立ちや家庭環境・生活環境を把握することで、支援の方向性を考えると共に、保護者の困りごとや教室では話しにくい相談事など保護者の思いに寄り添う支援に取り組んだ。保護者へは子どもの障害受容など、特に対応が必要な場合に随時時間を作って対応した。

○個別支援計画

保護者と個別懇談をし、保護者のニーズと子どもの現状を共通理解したうえで、療育教室での目標を立てた。毎月の職員会議にて目標の達成度を評価・検討し、時期を見て支援計画を修正することで子どもの成長を確認し、各子どもの目標をスタッフ全員が共有して保育することができた。

○専門職との連携

心理士による発達検査を受けることで、その時の子どもの発達段階や成長を保護者と共有したうえで家庭と療育教室とが連携し支援に繋がった。また保護者の障害受容にもつながることができた。

③包括的支援の実施

○医療機関、他事業所、こども園等と連携を図り支援につなげた。

(7) 柏原市育児支援家庭訪問事業（産褥期ヘルパー派遣事業）

柏原市からの受託事業として、産後8週間以内の産婦に対してサービスを提供した。
利用件数 5件 （利用合計時間 10時間）

(8) 柏原市障害者基幹相談支援センターによる相談体制の強化

①基幹センターとして総合相談機能の強化

障害者やその家族に対し、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用や社会生活力を高めるための支援、ピアカウンセリング、介護相談、障害福祉サービスの情報提供等、地域における生活支援を実施した。障害者権利擁護サポートセンターも兼ね、成年後見制度利用支援、虐待通報への対応と虐待防止のための支援等を行った。

【一般相談件数 月別件数】(のべ)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	229	149	117	116	152	112	169	108	147	118	117	135	1669

【支援方法】

方法	訪問	来所	同行	電話・FAX	メール	個別支援会議	関係機関	その他
件数	451	145	49	950	7	44	21	2

【障害別】(実人数)

	実人数	身体障害	重症心身障害	知的障害	精神障害	発達障害	高次脳機能障害	その他
障害者	354	13	8	81	222	18	3	9
障害児	62	1	6	23	0	32	0	0
計	416	14	14	104	222	50	3	9

*重複障害のケースは、それぞれの障害（知的と精神の重複の場合は「知的」及び「精神」）に計上する。

【内容別】(相談内容に含まれるものは、すべてカウント)

内容	件数	内容	件数
福祉サービスの利用に関すること	776	家計・経済に関すること	142
障害や病状の理解に関すること	2	生活技術に関すること	114
健康・医療に関すること	250	就労に関すること	228
不安の解消、情緒安定に関すること	359	社会参加・余暇活動に関すること	50
保育・教育に関すること	64	権利擁護に関すること	60
家族関係・人間関係に関すること	92	その他	31
虐待通報対応	11		

②柏原市障害者自立支援協議会の活性化

事務局会議・専門部会を中心に、事例検討、災害対応、啓発活動、当事者・家族の情報交換等の活動を実施した。

専門部会開催：事務局会議 12 回、相談部会 12 回、くらし部会 6 回、就労部会 6 回、子ども部会 2 回（コア会議 5 回）

【全体会・定例会開催内容】

開催日	内容	参加者
7 月 22 日	第 25 回全体会	
10 月 4 日	定例会研修「合理的配慮について」 会場にて講義とグループワーク	23 名
2 月 7 日	第 26 回全体会	
2 月 20 日	定例会研修「障害を持つ成人期のお子さんのいる保護者の体験談」 会場にて講義	25 名

③指定特定相談支援・障害児相談支援

障害者やその家族の方に対し、障害福祉サービスの情報提供・利用援助等、計画に基づいた地域における生活支援を実施するため、柏原市障害者基幹相談支援センターによる相談体制を強化した。

【計画相談件数】（令和 7 年 3 月末現在）

指定特定相談支援		障害児相談支援		地域移行支援・地域定着支援	
モニタリング件数	486 件	モニタリング件数	95 件	モニタリング件数	0 件
計画作成件数	225 件	計画作成件数	53 件	計画作成件数	0 件

④朗読、要約筆記奉仕員養成講座の実施、点字広報等発行

【講座開催状況】

開催日	内容	参加者
7 月 13 日 ～ 9 月 21 日	要約筆記奉仕員養成講座（全 9 回）	2 人
8 月 19 日 ～ 9 月 9 日	朗読ボランティア養成講座（全 4 回）	7 人

【点字広報等発行】

柏原市発行「広報かしわら」の点訳を点訳ボランティアグループに委託。
年 12 回、毎月発行した。

⑤車いす短期貸出事業（共同募金助成事業）

一時的に車いすが必要になった市民に対し 3 か月間以内の無料貸し出しを行った。

貸し出し件数（R6.4 月～R7.3 月）	月平均	稼働台数
合計 155 回	12.9 回	61 台

⑥障害者おむつ助成（共同募金助成事業）

対象	支給額	のべ利用者数
障害手帳取得者（重度相当） 非課税世帯	1 ヶ月あたり 3,500 円を限度	47 人 （実数 4 人）

⑦ピアカウンセラー相談業務（視覚障害 毎月 1 回）

ピアカウンセラーによる出張講演（盲導犬や点字等についての講義）

10 月 9 日	旭ヶ丘小 4 年生
1 月 15 日	関西福祉科学大学 2 回生 カフェミーティング

2月13日	国分小 4年生
2月17日	柏原小 4年生
3月3日	玉手小 3年生

⑧基幹相談支援センターの出前講座（随時依頼受付）
職員による出張講演（車いす体験や視覚障害について）

2月6日	堅下小 6年生
------	---------

⑨意思疎通支援者養成講座の実施
【講座開催状況】

開催日	内容	参加者
6月29日	聴覚障害者との意思疎通について	15名
10月26日	聴覚障害者福祉と手話	6名
11月16日	聞こえないってどんな事	9名
12月14日	大阪の聴覚障害者運動と手話	9名
1月18日	ろう教育と手話	7名
2月15日	日本の手話	15名

3 高齢者いきいき元気センター（地域包括支援センター）

（1）介護予防ケアマネジメント業務

①自立支援型ケアマネジメントの推進

要支援1.2と認定された方に介護予防支援および第1号介護予防支援に関するケアマネジャー調整、計画作成を実施した。

高齢者いきいき元気センター	居宅介護支援事業所（委託件数）
2,450 件	5,145 件

②自立支援型地域ケア会議

QOL向上について多職種で検討する会議を開催し、自立支援型ケアマネジメントの向上を図った。

開催回数	検討件数
24 回	24 件

③高齢者の自立支援に資するケアマネジメント

短期集中予防サービス	訪問型サービス C 32 件 通所型サービス C 47 件
地域リハビリテーション	57 件

（2）総合相談支援事業

①総合相談機能の強化

高齢者いきいき元気センターで、ワンストップで相談を受け、他機関へのつながりも行った。認知症地域支援推進員への相談も一体的に受け、支援へつないだ。

【一般相談件数 月別件数】（のべ）

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
件数	401	488	414	467	715	411	386	367	359	429	367	392	5196

受付形態	電話	訪問	来所	メール
	3919	831	443	3

相談経路	本人	833	病院・医師	251
	家族親族	2257	事業所（者）	267
	居宅介護支援専門員	623	関係機関	550
	民生・児童委員	164	その他	251

相談内容	高齢者虐待	223	介護保険関係（在宅）	2672
	権利擁護相談	219	介護保険関係（施設）	443
	住宅改修	181	ケア会議	38
	処遇困難	491	経済支援	148
	介護支援専門員支援相談	633	認知症	997
	ヤングケアラー	25	8050 問題	84
	介護保険申請代行	842	その他	1248

※重複あり

②各事業との協力連携

○地域包括支援センターランチ連携会議の開催

開催日・場所	検討内容
6 月 18 日 柏原市役所+ZOOM 開催	・ 健康・いきがい就労トライアル事業について説明 ・ ブランチ実績 について ・ 令和 6 年度事業計画について
10 月 15 日 柏原市役所+ZOOM 開催	・ 令和 6 年度上半期 相談実績報告について ・ ブランチのチラシと周知について ・ 高齢者の集いの場（1.5 次教室）のランチで立ち上げについて
2 月 18 日 柏原市役所+ZOOM 開催	・ 令和 6 年度 事業計画の評価について ・ 令和 7 年度 事業計画（案）について ・ ブランチのチラシと周知について ・ 高齢者の集いの場（1.5 次教室）のランチで立ち上げについて ・ 健康・生きがい就労トライアル事業に関する意見聴取

（３）権利擁護事業

①成年後見制度や消費者被害の防止の啓発

消費者被害の防止の啓発のため、柏原警察や消費生活センターと協力し研修会を企画開催した。また、柏原警察より紙芝居を贈呈され地域サロン等で特殊詐欺被害の啓発活動を行った。

○啓発活動

開催日・場所	内容	参加者
11 月 29 日 柏原市立健康福祉センターオアシス 3 階	介護保険サービス事業所対象 高齢者に関する事故・事件について啓発講座 講師：大阪府柏原警察署生活安全課防犯保安係 巡査部長 濱川友氏 講師：大阪府柏原警察署交通課交通総務係 警部補	24 名

	土井真由美氏 講師：柏原市役所産業振興課市民部産業振興課 柏原市消費生活センター 夏目昌幸氏	
--	---	--

②高齢者虐待の防止

○虐待防止連携会議

柏原市役所、障害者権利擁護サポートセンター、高齢者いきいき元気センターにより月1回会議を行い、ネットワークに関することや虐待事例について検討した。

○高齢者・障害者虐待防止ネットワーク会議（年一回）

開催日・場所	内容	参加者
10月3日 柏原市役所	協議事項：柏原市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク研修会について 報告事項：高齢者・障害者虐待実績報告、対応事例報告、高齢者いきいき元気センターと障害者権利擁護サポートセンターからの事例報告	18名

○柏原市高齢者・障害者虐待防止ネットワーク会議 研修会（年一回）

開催日・場所	内容	参加者
2月25日 会場開催及び ZOOM	柏原市内の介護保険事業所・障害福祉サービス事業所を対象に研修を開催 講義「虐待が疑われる不適切な対応を発見した時の支援者の対応方法について」 講師：関西福祉科学大学 柿木志津江氏	69名

（4）継続的、包括的マネジメント業務

①介護支援専門員の資質向上

介護支援専門員からの相談対応や研修会を予定し、後方支援を行った。

○介護支援専門員への後方支援相談件数：のべ 633 件

○介護保険事業所研修会

開催日・場所	内容	参加者
6月20日 集合 ZOOM 開催	研修会「令和6年度介護報酬改定について」 講師：大阪介護支援専門員協会西成支部 支部長 三浦浩史氏	26名
12月10日 開催	法定外研修「身元保証サービスを理解し適切に使うために」 講師：弁護士 脇田俊宏氏 大阪介護支援専門員協会柏原支部主催の研修会に事務局として参加	46名
2月13日 開催	「事例検討会」 大阪介護支援専門員協会柏原支部と柏原市内の特定事業所加算を算定している居宅介護支援事業所との共同開催に事務局として参加	20名

②多職種連携の充実による高齢者支援体制づくり

○医療・介護ネットワーク「いかしてネットかしわら」検討会・研修会の開催

開催日・場所	検討内容	参加者
6月13日 検討会	・柏原市在宅医療・介護連携推進事業	13名

会場：柏原市役所	令和 5 年度実績報告 令和 6 年度実施予定 ・「いかしてネットかしわら」研修会の開催時期と内容について	
12 月 12 日 研修会 会場・ZOOM 開催	三師会、病院、医療関係者、介護支援専門員、介護福祉関係者により研修会を開催 ・プロポーザル事業について ・災害時における柏原市の対応 ・グループワーク（柏原市で震度 6 強の地震が起きた場合に備えて、発災 3 日間を医療・介護の専門として行動するためにどのような準備をしていくか）	54 名

○地域密着型サービス運営推進会議参加状況

サービス種別	延べ回数
認知症対応型共同生活介護（9 事業所）	34 回
地域密着型通所介護（10 事業所）	14 回
小規模多機能型居宅介護（1 事業所）	3 回

○四市（柏原市・羽曳野市・松原市・藤井寺市）地域包括支援センター懇談会

開催日	検討内容
11 月 18 日 会場開催 （主任介護支援専門員部会 担当 藤井寺市）	・短期集中型サービスの現状 ・委託予防プランの点検方法 ・介護予防支援事業所指定を受けている事業所が作成するプランに対する包括の関与について
7 月 19 日 会場開催 （社会福祉士部会 担当 柏原市）	・社会資源の共有 ・若年性認知症への社会参加や社会資源について ・虐待対応について
12 月 16 日 会場開催 （看護師・保健師部会 担当 羽曳野市）	・介護予防の取り組み ・BCP 関連の対策、対応について ・企業などの他機関との連携について
11 月 12 日 会場開催 （予防プランナー部会 担当 松原市）	・ケアプランの評価について ・委託プランへの引継ぎ方法について ・区分変更前のプランの手続き方法について情報交換
8 月 7 日 会場開催 （全体会議 担当 羽曳野市）	・各専門部会の報告 ・介護予防支援事業所の指定について ・相談業務の一部を居宅に依頼しているか

③大阪介護支援専門員協会柏原支部事務局機能の充実

○大阪介護支援専門員協会柏原支部の活動

開催日・場所	内容
6 月 20 日 ZOOM 開催	・通常総会 研修会
12 月 10 日 開催	・法定外研修会 公益社団法人大阪介護支援専門員協会より講師を招き研修会を開催
2 月 13 日 開催	・事例検討会 市内の特定事業所加算を取っている居宅介護支援事業所と協力して開催

その他、毎月の理事会に事務局として参加

(5) 地域ケア会議の充実による個別課題の解決と地域課題の把握

①地域ケア個別会議の充実

地域あんしん事業や介護支援専門員からの相談について個別ケア会議を開催し、個別支援について検討した。介護支援専門員、障害者基幹相談支援センター、市高齢介護課、デイサービス事業所、民生・児童委員、柏原警察署等の関係者が集まり、12回開催した。

開催日	地域包括支援センター以外の参加者
4月30日	親族 市高齢介護課 介護支援専門員 デイサービス事業所
5月13日	市高齢介護課 介護支援専門員 CSW 重層的支援体制整備事業
6月3日	市高齢介護課 介護支援専門員 デイサービス事業所 ショートステイ事業所 福祉用具事業所
6月27日	親族 市高齢介護課 重層的支援体制整備事業
6月28日	親族 障害者基幹相談支援センター
9月3日	介護支援専門員 市高齢介護課
10月22日	介護支援専門員 市高齢介護課
12月17日	市高齢介護課 訪問看護事業所
12月19日	市高齢介護課 訪問介護事業所 介護支援専門員
3月11日	市高齢介護課 市生活保護係 介護支援専門員 訪問介護事業所 福祉用具事業所
3月13日	市高齢介護課 訪問介護事業所 デイサービス事業所 病院

4 高齢者対策の強化

(1) 健康寿命の延伸

①地域介護予防推進員の養成講座の開催

要介護状態にならないように介護予防と健康・生きがいの啓発を行い、その活動のリーダーとなる人を養成するための講座を開催した。

開催日・場所	内容	講師
10月1日 オアシス3階 講座室	・挨拶、オリエンテーション ・柏原市の現状 ・ずっと元気に過ごすために	柏原市社会福祉協議会 市高齢介護課 明治安田生命
10月11日 オアシス3階 地域交流ホール	・「脳を鍛える」	関西福祉科学大学 重森健太氏
10月18日 オアシス3階 地域交流ホール	・いきいきサロンに参加しよう ・地域活動の意義	介護予防サポーターズ 関西福祉科学大学 藤井有里氏
10月25日 オアシス3階 講座室	・レクリエーション・交流会 ・地域での介護予防、百歳体操	関西福祉科学大学 一村小百合氏 リハビリ訪問看護しおん 溝上氏
10月31日 オアシス3階 講座室	・栄養講座 ・口腔ケア	市高齢介護課管理栄養士 大阪府歯科衛生士会
11月7日 オアシス3階 講座室	・これからの活動 GW ・閉講式	関西福祉科学大学 藤井有里氏 柏原市高齢者いきいき元気センター

②いきいき百歳体操、地域介護予防サロンの充実による居場所づくり

○「サロン代表者の集い」を開催し各サロンとの交流を図った

開催数：1回 参加団体数：21団体 参加人数：35人

○地域サロンでの柏原市いきいき百歳体操実施状況

新規立ち上げ数	2団体	地域サロン総数	54団体
---------	-----	---------	------

○介護予防サポーターズサロン

「介護予防サポーターズ」（地域介護予防推進員養成講座修了者のボランティア団体）による介護予防教室の活動支援を行った。

教室名	開催場所	内容
いきいきサロン若返り	柏原市立健康福祉センター 今町老人会館	運動指導士による運動
いきいきサロン（歌）	柏原市立健康福祉センター	童謡・唱歌など歌サロン
物忘れ予防サロン	柏原市立健康福祉センター	簡単算数、パズル等
旭ヶ丘サロン（コーラス）	旭ヶ丘3丁目1区会館	童謡・唱歌など歌サロン

○市内の柏原市いきいき百歳体操のサロンや地域介護予防教室で保健師、看護師等が出前講座を行い、介護予防の普及啓発に努めた。

出張先	出前講座回数
いきいき百歳体操出前講座	47回
介護予防サポーターズサロン	24回
その他の出前講座	19回

③認知症カフェ「カフェほのぼの」の活動支援（毎月第一水曜開催）

開催場所	開催数	延べ参加者数
カフェほのぼの（東町老人会館）	12回	150人

④ボランティアポイント事業の普及啓発と事務局機能の充実

高齢者の介護予防ボランティア活動促進を行うと共に、地域貢献することを奨励・支援し、高齢者自身の社会参加活動を通じた介護予防といきいきした地域社会づくりの推進に努めた。福祉事業所へボランティアポイント事業への施設登録の拡大を行う。（事業所登録数15か所）

令和6年度 登録者数	主なボランティア活動内容
82名	調理ボランティア（50名）・配食ボランティア（14名） 施設ボランティア（18名）

（2）認知症対策の強化

①認知症総合支援事業の推進

○認知症地域支援推進員への相談件数 のべ 402件

○認知症サポーター養成講座 5回開催 のべ養成人数：266人

○キャラバンメイト養成講座（府主催） 2回開催 養成人数：3人

○物忘れ相談会の実施

市内の認知症サポート医と連携し、市民対象に個別相談会を実施した。

開催日・場所	認知症サポート医	相談者数
5月30日 対面開催	藤江クリニック 藤江博氏	3件
9月20日 対面開催	弓崎いこいクリニック 弓崎恭俊氏	3件
2月27日 対面開催	国分病院 木下秀一郎氏	2件

○認知症関連協力団体会議の実施

市内の認知症関連の各団体の代表と、認知症啓発についての会議を開催した。

開催日・場所	参加団体
11月1日 ZOOM開催	柏原市医師会、国分病院、八尾こころのホスピタル、大阪介護支援専門員協会柏原支部、地域密着型サービス事業所連絡会、柏原市介護保険デイサービス事業所連絡会、介護予防サポーターズ、柏原市高齢介護課、柏原市高齢者いきいき元気センター、認知症地域支援推進員

②認知症初期集中支援チーム（オレンジチーム）の活動実施

認知症サポート医、認知症地域支援推進員、包括保健師・看護師にて、認知症の疑いがあり、支援に繋がっていない方への初期支援を行った。

○チーム対応件数：2件

（３）介護者支援の充実

①在宅高齢者・障害者配食サービス

食事作りが困難な在宅の高齢者や重度障害者に対して、栄養のバランスのとれた食事をボランティアを中心に調理し、栄養改善による健康の維持、疾病の予防を図った。
また、個別に配食することで安否確認を行い、高齢者等の在宅生活を支援した。

年間のべ配食数	5,323 食	（うち独居高齢者）	44 人
（うち高齢者配食数）	5,230 食	（うち高齢者のみ世帯）	4 人
（うち障害者配食数）	93 食	（うち昼間独居高齢者）	2 人

年間配食日数：244日 年間利用実人数：50人

○調理ボランティア数：46名 配食ボランティア数：16名

調理ボランティア班長会議 4 回開催

②介護用品支給事業（高齢者オムツ助成）の運営

対象	支給額	のべ利用者数
高齢者（介護度 3 以上、非課税世帯）	1 ヶ月あたり 5,000 円を限度	363 人

③認知症家族介護者の会「いどばた」の支援

毎月第二火曜日に開催し、認知症当事者の家族同士の情報交換を行った。

会場	開催数	のべ参加者数
家族会いどばた（特養太寿）	11 回	83 人

④くらしのサポート・サービス事業の拡充と安定運営

同じ地域に住む住民同士の共助の趣旨のもと、事業周知を行い会員獲得に努めた。

○会員数（カッコ内は実働数）

依頼会員数：536 名（61 名）

協力会員数：69 名（15 名）

○活動実績

新規依頼件数：24 件

活動回数：1,187 回

（４）団体活動の支援

○柏原市老人クラブ連合会事務局の運営

おおむね 60 歳以上の高齢者の心身の健康の保持に資するための教養講座、レクリエーションその他教養・健康増進活動のために高齢者が自主的かつ積極的に参加することができることを目的とした事業を実施した。

老人クラブ単位数：26 クラブ

会員数：1,108 人

○活動内容

開催日	日時
5 月 30 日	総会
5 月～6 月 9 月～10 月	シルバーヘルススポーツ講習会 グラウンドゴルフ 4 回 ディスコン 3 回 (のべ 92 人参加)
6 月 11 日～7 月 30 日 9 月 3 日～10 月 22 日	シニア大学 全 10 回 (のべ 252 人参加)
7 月 23 日・24 日	高齢者福祉作品展
9 月 16 日	高齢者福祉大会 リビエールホール (大ホール)
11 月 14 日	柏原市老人クラブ連合会創立 60 周年記念式典 高齢者演芸大会 リビエールホール (小ホール)

○大阪府老人クラブ連合会各種事業への参加

(5) 地域見守りネットワークの構築

①生活支援コーディネーターによる地域ニーズの把握と地域のネットワーク構築

柏原・国分各エリア会議及び自立支援型地域ケア会議に出席し、地域ニーズの把握に努めた。

②見守り専門員による地域あんしん事業

一人暮らし台帳登録をされている高齢者のうち、希望される方や見守りの必要な方に対して見守り訪問や相談対応、会議を行った。

	エリア会議	訪問件数
柏原・堅下地区	10 回	1,033 件
国分・堅上地区	9 回	573 件
合計	19 回	1,606 件

③愛の訪問活動事業 (共同募金助成事業)

見守りの必要な 75 歳以上の一人暮らし高齢者に週 2 回乳酸菌飲料を配布。
令和 6 年 10 月 1 日より事業名を愛の一声訪問事業から愛の訪問活動事業へ変更。
また、事業の対象年齢が 75 歳以上から 85 歳以上へ変更することになった。
対象者数：のべ 384 人 年間配布本数：35,712 本
配達員からの安否確認依頼：年間 47 回

④関係機関との連携

困難事例にランチや民生・児童委員とともに対応するなど連携を行った。

【福祉事業課】

5 介護保険事業

(1) 居宅介護支援事業『ケアプランかしわら』

事業運営としては、引き続き特定事業所加算Ⅱの加算要件維持に努めることができた。「ケアプランデータ連携システム」については、市内に未導入の事業所が多いことから今年度については見送ることになった。また様々なニーズにこたえる支援を行

うために多様な社会資源（医療保険サービスで薬局（居宅療養管理指導で薬の配達）や、自費サービスでシルバー人材センター、宅配弁当、介護タクシー。認知症カフェ（月1回の居場所づくりやリクリエーションの提供）など）の活用を行った。

地域包括支援センターランチの一つ「ランチこくぶ」として、エリア会議への出席や相談窓口対応の実施を行い、地域住民の相談窓口としての役割を担った。

○職員体制（令和7年3月末現在）

	常勤	非常勤	常勤換算 7名
管理者兼主任介護支援専門員	1名	—	
介護支援専門員	6名	0名	

○介護度別利用状況（令和7年3月末現在）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
25	22	82	46	23	20	14	232名

○要介護認定調査

他市町からの委託分	合計 6 件
-----------	--------

○各加算件数

特定事業所加算Ⅱ	初回加算	医療連携加算	退院退所加算	通院時情報連携加算
2359	65	73	2	2

○地域包括支援センターランチこくぶ相談受付件数 合計 83 件

家族・本人	病院関係	事業所	その他
72	8	1	2

○利用者満足度アンケート調査実施

実施期間	配布数	回収数	回収率
10月～11月	224	197	87.9%

○ホームページの更新（アンケート集計結果の報告等）

○介護支援専門員実務研修実習受け入れ 0名（依頼なし）

（２）訪問看護事業『訪問看護ステーションかしわら』

介護保険法・健康保険法による指定を受けたステーションとして、医療的支援が必要な利用者に対し看護サービスを行った。また、緊急時訪問看護加算（医療では24時間対応体制加算）の体制を維持し、緩和ケア病棟への入院が増加傾向の中で、在宅看取り（ターミナルケア加算1件/年・エンゼルケア3件/年）を含め在宅での生活を支える残存機能の維持・向上のために継続的支援を行った。

○職員体制（令和7年3月末現在）

	常勤	非常勤
管理者	1名	—
看護師	2名	4名
理学療法士	1名	3名

○介護度別利用状況（令和7年3月末現在）

要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
8	2	15	12	6	5	4	52名

○医療保険利用状況（令和6年度 訪問のべ人数）

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
後期高齢	8	8	7	8	9	8	9	9	8	11	5	6	96名
医療保険	6	5	5	5	5	3	3	3	2	3	3	3	46名

○月別利用状況

【介護保険利用者数】（令和6年度 訪問のべ回数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
547	537	446	494	519	473	510	471	468	417	417	454	5753回

【医療保険利用者数】（令和6年度 訪問のべ回数）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
142	147	109	118	129	113	105	102	97	114	88	90	1354回

○主な会議の出席状況(オンライン会議も含む)

内容	回数
大阪府訪問看護ステーション協会 中河内ブロック管理者会議	3回
柏原市看看連携会	6回

○利用者満足度アンケート調査実施

対象	実施期間	配布数	回収数	回収率
介護・医療 全利用者	9月～10月	56	47	83.9%

○社会福祉法人寿光会のグループホーム「令寿の杜」の健康管理事業の受託

（令和6年度のべ人数、週1回訪問 2名の看護師で2ユニット対応）

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
17	17	18	18	18	18	17	17	16	16	16	16	204名

○ホームページの更新、訪問看護通信の発行

訪問看護の取り組みや健康に関する情報を「ほのぼの通信」として利用者・関係機関に向けて年2回発行し、合わせてホームページも年2回更新した。

○内部研修

大阪府看護ステーション協会の「中堅研修」に1名が参加。事業所内で研修会を実施。

○実習生の受け入れ

関西看護専門学校実習生 9名（1年生含む）

大阪保健福祉専門学校 6名

○医療保険オンライン資格・オンライン請求への移行

対応できるシステム・PC機器の設置を行った。新年度より運用する。

(3) 訪問介護事業『ヘルパーステーションかしわら』

令和5年度末より休止していた訪問介護事業は、令和6年7月31日付にて事業廃止となった。

6 障害者支援事業

(1) 肢体不自由児訓練事業

運動発達に障がいや遅れなどのある児童に運動能力の改善として機能訓練を行い、保護者には日常生活のなかで活かせるように助言する。

※令和6年度は在籍児なし

7 障害福祉サービス事業『障害福祉サービスわくわく』

令和6年度の報酬改定で生活介護がサービス提供時間ごとの基本報酬に変更になり、サービス提供時間を変更した。就労継続支援B型では平均工賃月額の計算方法が変更となり、基本報酬変更に向けて工賃向上のためにさまざまな工夫を行った。

地域ボランティアの来所により、催しを通じて、生活介護、就労継続支援B型の利用者と交流を行った。障害福祉サービスを利用中の利用者で数年以内に65歳を迎えられる方も、「障害福祉サービスわくわく」(以下、わくわく)は共生型の地域密着型通所介護に対応しているということで安心していただいている。

(1) 生活介護

生活介護では、利用者の身体機能にあわせた支援を実施している。また共生型地域密着型通所介護事業も滞りなく実施できており、現在、障害福祉サービス対象の利用者が65歳に達し介護保険に移行しても「わくわく」を継続して利用していただくことができる。

開所日	利用定員	事業の目的
月～金 祝日含む	10人	利用者の意思及び人格を尊重し、利用者の立場に立った自立の促進、生活の向上を図る。
開所日数	のべ利用者数	活動内容
256日	1,357人	個別の機能訓練、集団体操・レクリエーション、生産活動、おやつレクの開催

契約者数：14名

○作業やレクレーションなどの日中活動を行う。おやつレクを実施し、自分で調理したおやつを食べていただく機会をもった。

○年2回の災害訓練実施。うち1回は利用者参加で火災避難訓練を行う。

○地元業者や友愛訪問の「のしつけ」作業の請負を行っている。のしには「わくわく」の利用者が作業していることを記している。

作業に参加した利用者には工賃の支払いを行う。

○共生型地域密着型通所介護

開所日数	のべ利用者数	事業の目的
256日	255人	生活介護と同じ。介護保険に移行になっても途切れない支援の実施。

契約者数：1名

(2) 就労継続支援B型

就労継続支援B型では、新規取引業者が増え、利用者の得意分野にあわせた軽作業の提供を行った。また、作業訓練やコミュニケーション能力向上などの社会訓練を兼ね

て、ちぎり絵の壁画制作を行った。職員の介入を減らして、紙の色やサイズを利用者同士で話し合い、利用者ひとりひとりが自分で「決める」経験を積んでいただくことができた。

開所日	利用定員	事業の目的
月～金 祝日含む	20人	利用者が地域との関わりを持ち、働くことに生きる喜びを感じながら、生活の向上、自立を図ることを目的とする。
開所日数	のべ利用者数	作業内容
256日	4,822人	帯つけ、ラベル貼り、袋詰め等個々に合わせた作業 (6社契約中)職員・利用者向け飲料・菓子販売

契約者数：29名（うち新規契約者8名 終了者3名）

- 様々な作業の中から個別の能力や機能にあわせた作業を提供
新規業者が2社増え、計8社と契約。・エルチャレンジの作業に応募
軽作業以外の生産活動として職員向け販売の実施(1回)。
就労支援事業収入2,577,312円
平均工賃月額10,910円(工賃支払総額/平均利用者数×12で算出)
- 研修会への積極的な参加。
柏原市作業所連絡会親会議で柏原市内の障害福祉事業所との情報交換
柏原市作業所連絡会主催の情報交換会に参加
- 年2回の災害訓練実施。うち1回は利用者参加で火災避難訓練を行う。
- 柏原市作業所連絡会主催のポッチャ・文化祭に参加し、職員・利用者間の交流を実施。

8 介護保険・障害福祉サービス事業共通事項(会議・委員会の開催等)

(1) 虐待防止及び身体拘束等の委員会の開催(年1回以上)と適正化への取組継続

介護保険・障害福祉サービス共に、法令で虐待防止及び身体拘束等の委員会の開催(年1回以上)が必須とされており、今年度は令和7年3月19日に開催した。
虐待発生の有無や虐待防止に関する研修報告、次年度の取り組みについて協議した。

(2) 介護保険・障害福祉サービス事業あり方検討委員会事務局会議の開催(年2回)

「介護保険・障害福祉サービス事業あり方検討委員会 事務局会議」を年2回開催し、各事業の運営方針の検討や、令和5年度の取り組みに対しての評価を行った。
また、介護・障害の令和6年度報酬改定の時期に合わせた各事業の中期(3ヶ年)計画に対しても、評価と計画策定を行った。

開催日	検討内容
9月19日	各事業上半期事業報告、訪問介護事業の今後の方向性について
2月20日	各事業下半期事業報告、福祉事業課3ヶ年計画評価と次年度目標について